|  |  |
| --- | --- |
| 単元名 | She can run fast |
| 言語材料 | 語彙：play the recorder, play the piano, ride a bicycle/unicycle, swim, skate, ski, cook, dance,  run fast, jump high, sing well  表現：”I can~.” “She/He can~.” “Can you do that?” “Yes, I can.” “No, I can’t.” |
| 対象学年 | 5年生 |
| ねらい | She can/He canを用いて友達のできることを紹介できる。 |
| 使用教材 | 教師用絵カード、児童用絵カード、友達紹介カード、2限で用いたインタビューシート |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 学習活動 | 児童の活動 | 教師の活動 | 留意点 |
| 3分 | 1. あいさつする | 先生とあいさつし、近くの数名ともあいさつする | 児童とあいさつし、児童同士でもあいさつさせる |  |
| 10分 | 1. メモリーゲーム    1. 6~7人のグループを作り、1人の児童を基準に以下の会話を行う。    2. 肯定文、否定文両方行う。   A: I can run fast.  B: A can run fast. I can jump high.  C:A can run fast. B can jump high. I can skate. | グループを作りメモリーゲームを行う。  肯定文、否定文それぞれ行う。 | メモリーゲームのデモを見せる。  児童のグループを作り、メモリーゲームを行う。 | 肯定文と否定文の違いを理解した上で行うようにする。 |
| 10分 | 1. マッチングゲーム   1．4人1グループを作る。  2．2限で回収したインタビューゲームのシートを用いてある児童の文を読む。  　　3．児童は読まれた文を下のように組み合わせる。  Ex. He + can play the recorder.  She + can’t ridea bicycle. | マッチングゲームのデモを見る。  4人1グループを作る。  マッチングゲームを行う。 | マッチングゲームのデモを見せる。  児童の4人1グループを作る。  マッチングゲームを行う。 | 時間配分をしっかり確保する。 |
| 20分 | 1. 友達紹介クイズ   別紙参照 | 教師の身近な人の紹介を聞く。  それぞれの友達紹介シートを作成する。  活動のデモを見る。  実際に行う。 | 身近な人を1人紹介する。  児童にポスターを作成させる。  活動のデモを見せる。  実際に行う。 | ポスター作製に時間を掛け過ぎないよういする。 |
| 7分 | 1. 評価シート、あいさつ    1. 評価シートを書く。    2. 終わりのあいさつ | 評価シートを記入する。  終わりのあいさつを行う。 | 評価シートを配り、記入させる。  終わりのあいさつをする。 |  |